



震災ガレキ処理をめぐる対立の構造

第7班 福地 峻 陳 帥 豊田 博美

指導教員：梅本 通孝

OUTLINE

- *背景・目的
- *作業手法の紹介
- *動向把握
- *ケーススタディ
- *考察とまとめ



背景・目的

- 2011年3月11日に起きた東日本大震災により、大量のがれきが残された
- 広域処理が国の思うように進んでいない
- 広域処理に関する様々な問題を分析、対立構造を整理し、事態の把握を行う

作業の流れ

- 朝日新聞からデータの収集
- KJ法でデータの整理と関係性の図式化
- キーワードによる動向把握
- 考察

データ収集

・ 聞蔵II ビジュアル

・ 検索keyword

・ 検索期間:

2011/3/11 ~

2012/8/31

聞蔵II ビジュアル

朝日新聞1985~週刊朝日・AERA | 朝日新聞縮刷版1879~1989 | 知恵蔵 | 人物 | 歴史写真

(注) 聞蔵IIテキストでご契約のお客様は切り抜きPDFが表示されません。

検索モード: シンプル検索 詳細検索

対象紙誌名: 朝日新聞 アエラ 週刊朝日

キーワード: 災害廃棄物 + (がれき & 受け入れ & 処理) [検索実行]

AND OR NOT 関連キーワード参照

異体字を含めて検索

発行日: 3カ月 6カ月 1年 全期間

2011年 3月 11日 から 2012年 8月 31日

AND OR NOT

※グリーンで表示された記事は著作権などの関係で本文を表示できません。
 ※聞蔵IIテキストでご契約のお客様は切り抜きPDF (関連素材) が表示されません。

総件数: **389件** 通し番号: **1 ~ 100**

全選択 全解除 本文表示 ▼次の100件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数	写真図表	関連素材
<input type="checkbox"/> 00001	2011年03月23日	朝刊	1 社会	029	01239文字	あり	
	がれき「私有財産」の壁 無断処分できず 東日本大震災 【大阪】						
<input type="checkbox"/> 00002	2011年03月24日	夕刊	3 総合	003	00601文字		
	がれき撤去、ほぼ国費で 被災地の負担を軽減 東日本						

検索結果画面 (総件数: **389件**)

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00088	2012年04月20日	朝刊	1 社会	033	00517文字

震災がれき基準、国より厳しく 三重県素案、「2000ベクレル以下」 【名古屋】

東日本大震災で発生した**がれき**の広域**処理**をめぐり、三重県が県内**受け入れ**を想定して独自に策定を進めるガイドラインの素案の内容が19日、わかった。国より厳しい放射性物質の基準を設け、測定地点なども詳しく盛り込んだ。

県は独自の**処理施設**を持たないため、**受け入れ**の可否は市町が判断する。

素案によると**受け入れ**を想定するのは木くずや廃プラスチックなど可燃性の**がれき**。含まれる放射性物質の濃度は1キロ当たり100ベクレル以下とし、焼却灰を埋め立てる基準は同2千ベクレル以下。焼却灰をセメントの材料などに再利用する場合は同100ベクレル以下とする。

環境省は、広域**処理**の**がれき**の目安を同240～480ベクレル以下とし、焼却灰の埋め立て基準は同8千ベクレル以下。県の素案は、いずれも国より厳しい。

素案では、放射性物質の測定は最大16カ所で行う。搬出側の被災自治体では、一時保管所など4カ所で測る。運搬時には船や鉄道に積み込むコンテナごとに測定。県内の焼却施設では、焼却灰のほかに排ガスや排水の濃度、施設周辺の空間線量も測る。最終処分場やリサイクル施設でも測る。

基準を超えた場合は被災県から搬出せず、県内に搬入された分は返すとしている。



記事時系列まとめ

No	記事日付	国			地方自治体			東北3県			一般市民			その他		
		反対	その他	賛成	反対	その他	賛成	反対	その他	賛成	反対	その他	賛成	反対	その他	
1	2012/08/01															
2	2012/08/04															
3	2012/08/07		震災がれき県外処理、6割減の169万トン 国が工程表を明らかにした。													
4	2012/08/08		野田首相、災害廃棄物の処理の推進に関する関係閣僚会合													
5	2012/08/08															
6	2012/08/08		震災がれき処理、道中は県外分譲引渡成に自信 国が工程表、岩手、宮城両県の広域処理必要量は169万トンと、当初見込みから6割減													
7	2012/08/08															
8	2012/08/08															
9	2012/08/10															
10	2012/08/10															
11	2012/08/11															

Excelを利用し、記事概要を

- 国
- 地方自治体
- 東北3県
- 一般市民
- その他

に別け、時系列に並べる

KJ法

データをラベルに記述しラベルをグループにまとめて、図解し、論文等にまとめる方法である

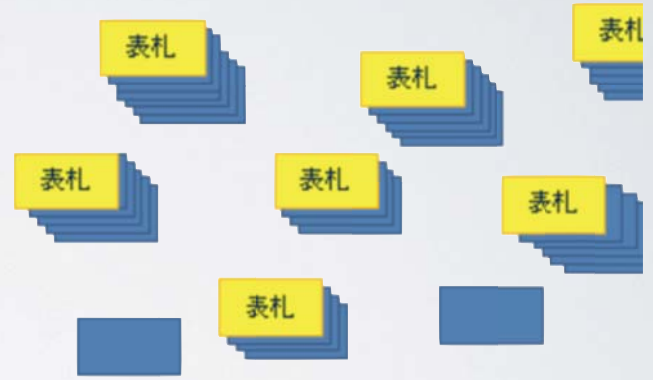
STEP 1

- ・ラベル広げ
- ・内容確認・共有



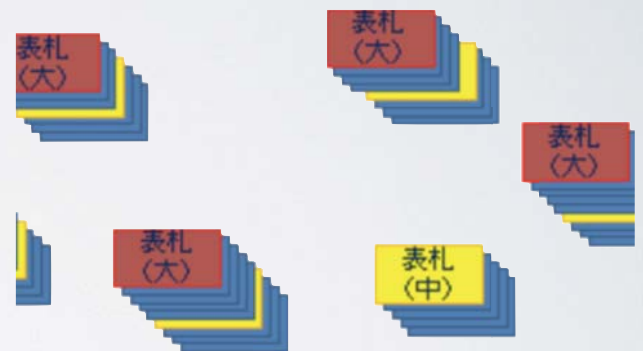
STEP 2

・ グルーピング



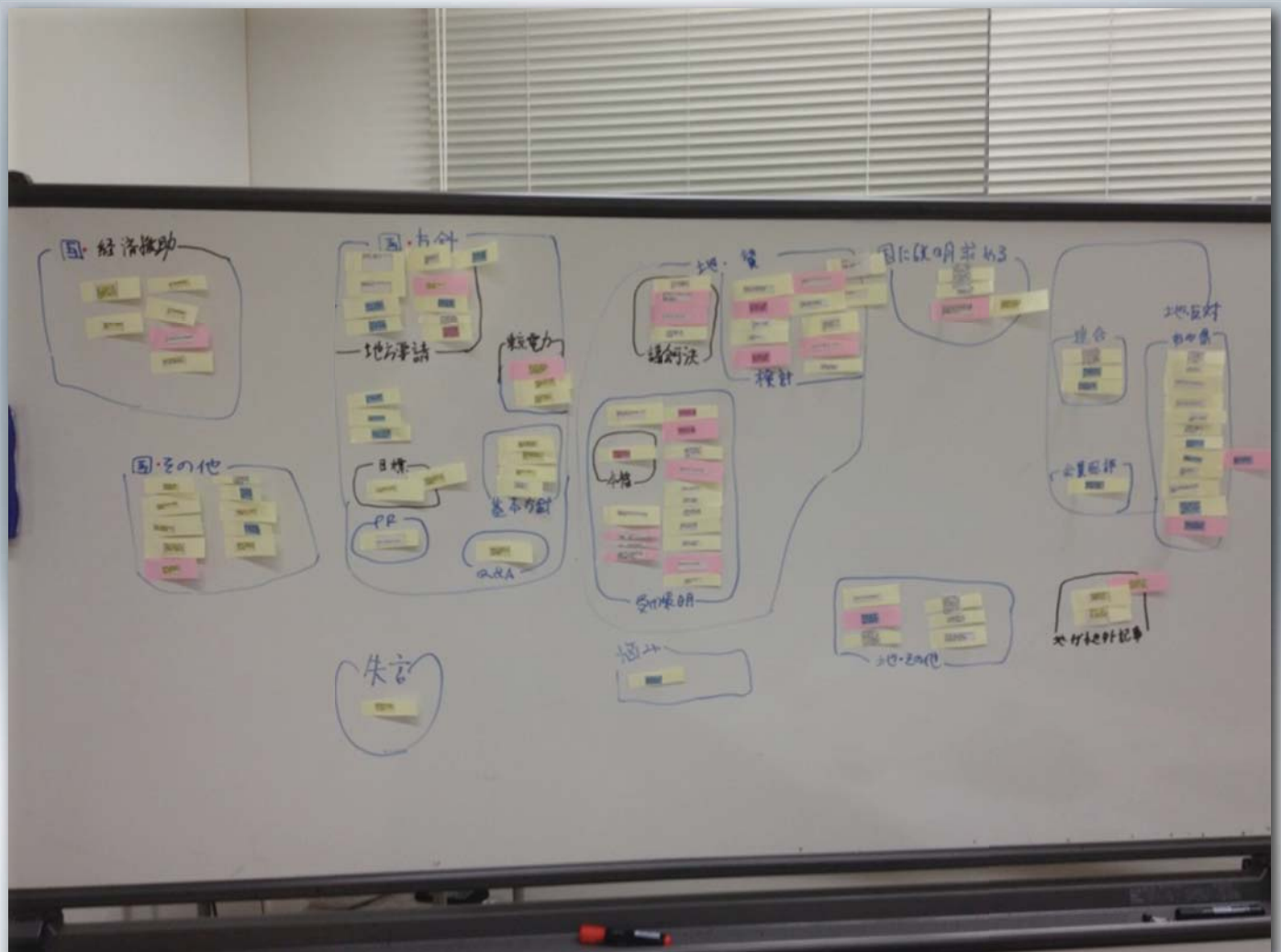
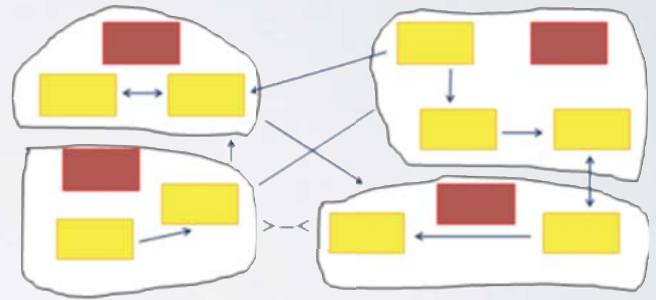
STEP 3

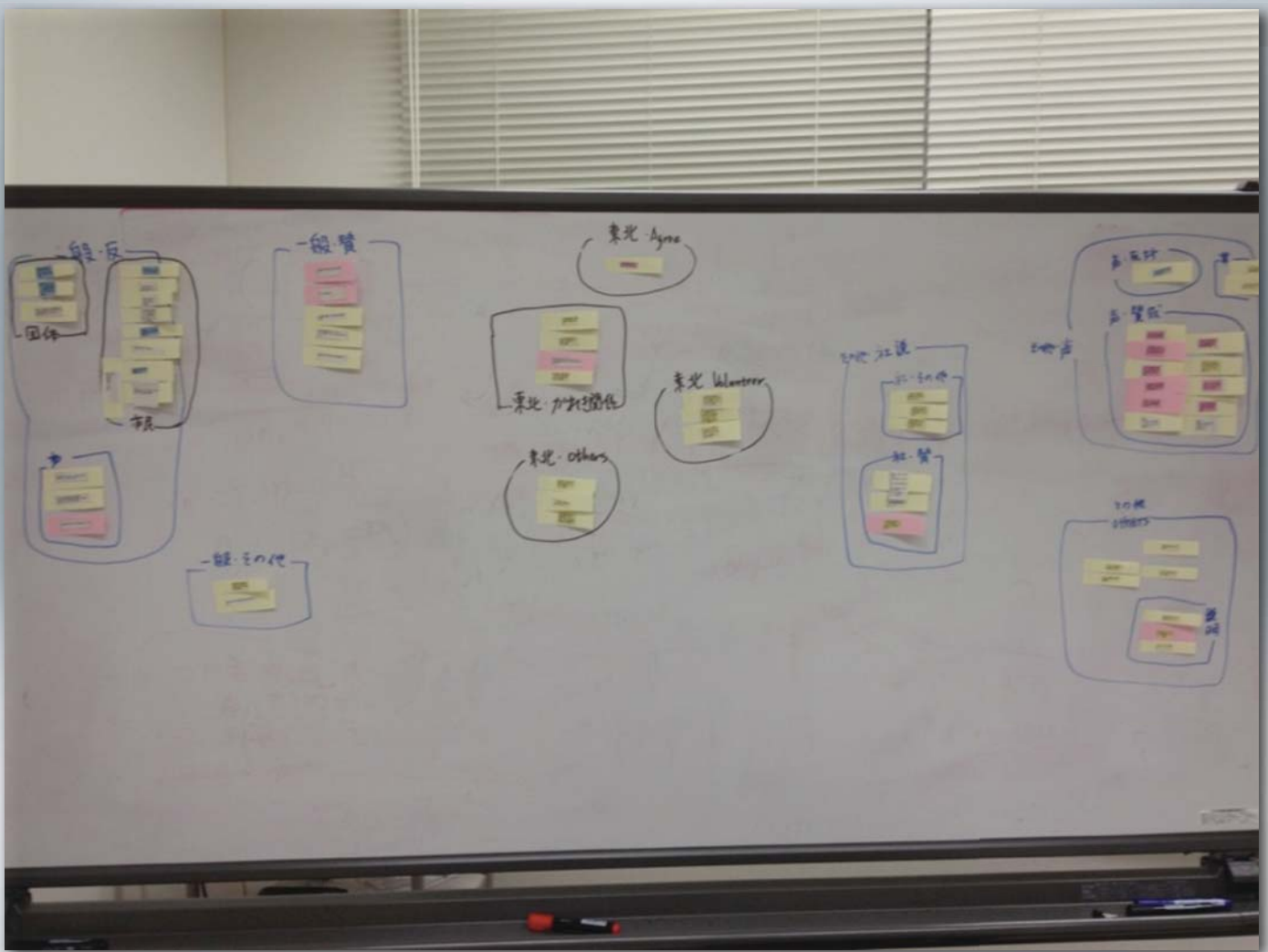
・ 小から中 大グループへ



STEP 4

・ 関係を図解 (別紙へ
写し取る)





その他 2012 4/1 ~ 8/31

地方自治体

北九州市関連

- ・北九州市、震災がれき説明会開催予定
- ・宮城県とがれき処理協定締結
- ・震災がれき、門司でも試験焼却開始
- ・漁協が風評被害懸念
- ・処理、9月17日から
- ・がれき受け入れに石巻市長が謝意
- ・処理予定ずれ込む

基準・予算

- ・北九州市 8.5億円予算可決
- ・愛知県、がれき処理の独自基準
- ・愛知県、試験焼却等予算として7千万円補正予算案に上乘せ方針固めるが、量が減り予算1400万円減額
- ・三重県、独自ガイドラインを処理業者に理解求める
- ・兵庫県放射性物質基準案、大阪府より厳しく2県内で最終処分を巡り意見対立。また、環境省に安全性評価求める方針。

焼却施設建設中止

- ・宮城県、県外処理(可燃)の量を下方修正
- ・佐賀県、愛知県、大分県がれき受入撤回表明

その他

- ・稚内・浦河2首長、広域連合、震災がれき視察へ
- ・広域処理のQ&A記事掲載
- ・北海道への可燃物割当量無し。不燃物は引き続き検討
- ・宮城県石巻市で地元焼却始まる
- ・可燃物震災がれきにコンクリート混入

東北3県

- ・宮城、岩手、がれき焼却本格化。県外処理減る見通し
- ・最終処分、協議行き詰まり
- ・福島、楡葉町の警戒区域解除
- ・がれき県外処理4割減
- ・宮城県、広域処理114万トンのうち100万トン受け入れ未確定

一般市民・声

- ・がれきで花を生ける華道家
- ・脱原発へ力を向ける
- ・なぜ広域処理地が遠い北九州市か
- ・がれき問題訴訟で被災者の気持ちは？
- ・がれき処理は科学面だけでなく政治面についても問題提起すべき

分析結果の一部

地方自治体・賛成

地方自治体方針一覧

●がれき広域処理の検討状況

●受け入れ済み

<都道府県> 青森、山形、東京

●政府がすでに割当量を要請済み

<都道府県> 青森、秋田、山形、群馬、埼玉、神奈川、静岡、大阪

<政令指定都市> さいたま、横浜、川崎、相模原、静岡、浜松、大阪、堺

●受け入れ方針や自治体名を回答

<都道府県> 北海道、茨城、栃木、千葉、新潟、富山、石川、山梨、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、福岡

<政令指定都市> 千葉、新潟、京都、神戸、北九州

(環境省の資料をもとに作成。上記以外は未定や受け入れ困難など)

留意

自治体、汚染懸念の声を配慮し、がれき搬入に備む

地方自治体・グレーゾーン

地方自治体検討中

国の受け入れ基準が適用できないとして、独自に基準を設けての受け入れ検討を行っている地域。

関西広域連合

・北海道

・三重県

その他検討中の自治体

・福井県敦賀市

・大宮

・沖縄

地方自治体が国に説明を求める

国に対し、京都府、北海道、他6知事が下野説明を要求

・最終処分場の確保

・高評価の確保

・放射線基準値を超える経路経受生体の対応

・全国理事会は、安全性について説明を要求

地方自治体が国に説明を求める

がれき処理を国会内閣府に説明し、国の受け入れ基準に照準を合わせようとする自治体



一般市民、地方自治体・反対

自治体の反対

自治体の賛成

自治体の反対

自治体の賛成



社説・声

説明・その他

福島原発の事故について、自治体は国の説明が不十分で、ボランティア活動を行うにあたっての心構え

その他

福島原発で汚染が広がる中、中間貯蔵を承継、セメント工場ががれき処理に賛同、がれき処理の進展を促す、実地におし説明を促す

案

がれき処理にあたってがれき再処理する案がいくつかあっている、がれきをリサイクル、がれき発電

その他

・国庫に搬入するがれき処分をどうするか

・放射性物質を規制、取り除く必要となる法律など

・放射線対策が中期的にどうなるか

社説の賛成意

国庫の処理、国庫では受け入れを断るものが多くみられた、がれき受け入れが広がることを懸念

・がれき受け入れに賛同する自治体は少ない

・国、地方自治体の取組が必要

・がれき広域処理の推進のために進めよう

・自治体間の連携が必要

・国庫に搬入するがれき処分をどうするか

・放射性物質を規制、取り除く必要となる法律など

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

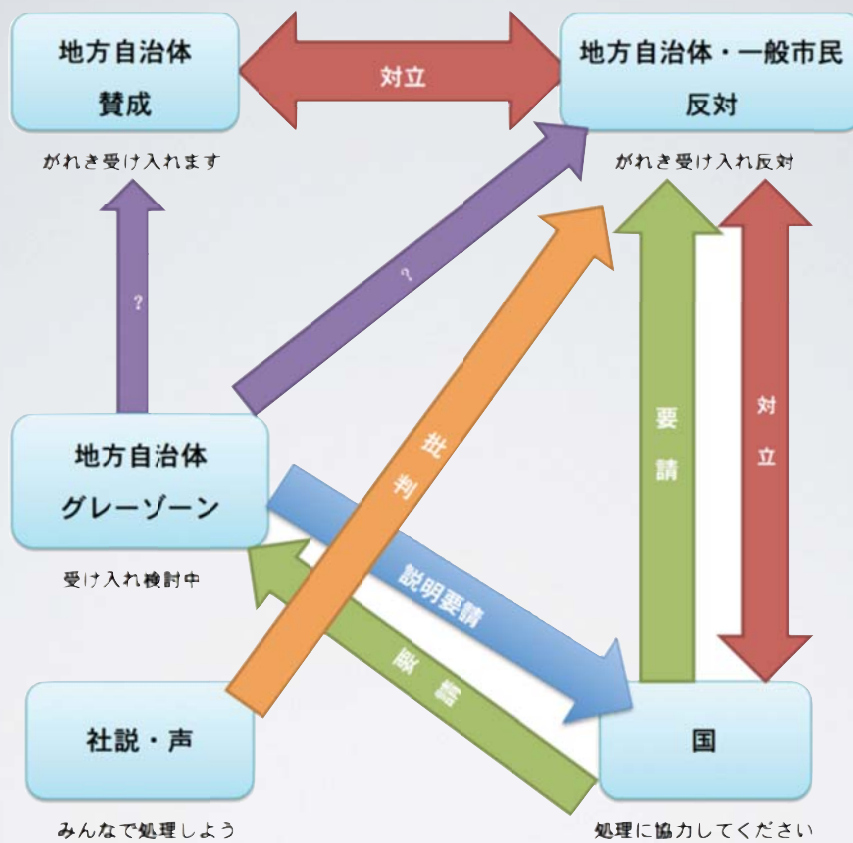
・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

・放射線対策が中期的にどうなるか

結果分析

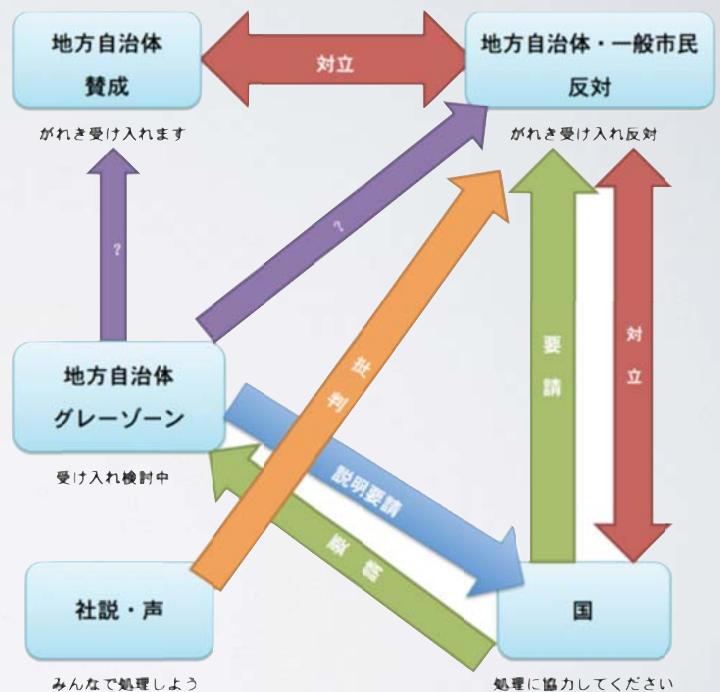
KJ法による動向把握



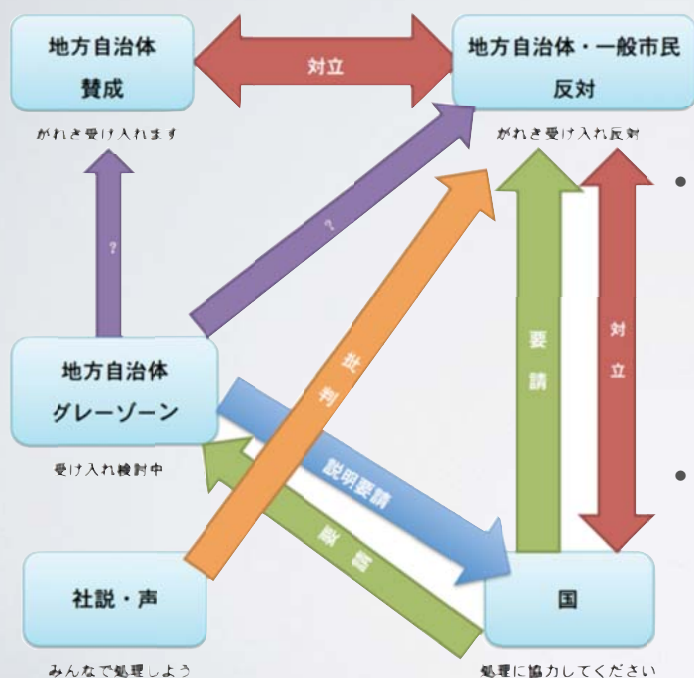
簡略化した結果

結果分析

- 3つのグループに分かれる
- それぞれのグループの中に**賛成**、**反対**、**グレーゾーン**の3つの意見がある
- 国は地方自治体に対し、広域処理の協力を要請するが、反対の地方自治体と対立関係になっている
- 反対派の地方自治体に対し、賛成派の地方自治体とも対立の構造となっている



結果分析



・社説や市民の声では、反対している地方自治体にたいし批判をする

・地方自治体のなかでは賛成の姿勢を示していたが反対市民の声を聞き、受け入れ拒否状態になった自治体もある

・グレーゾーンの自治体は、市民の不安を少しでも取り除く為、国に説明を要求している

キーワード調査

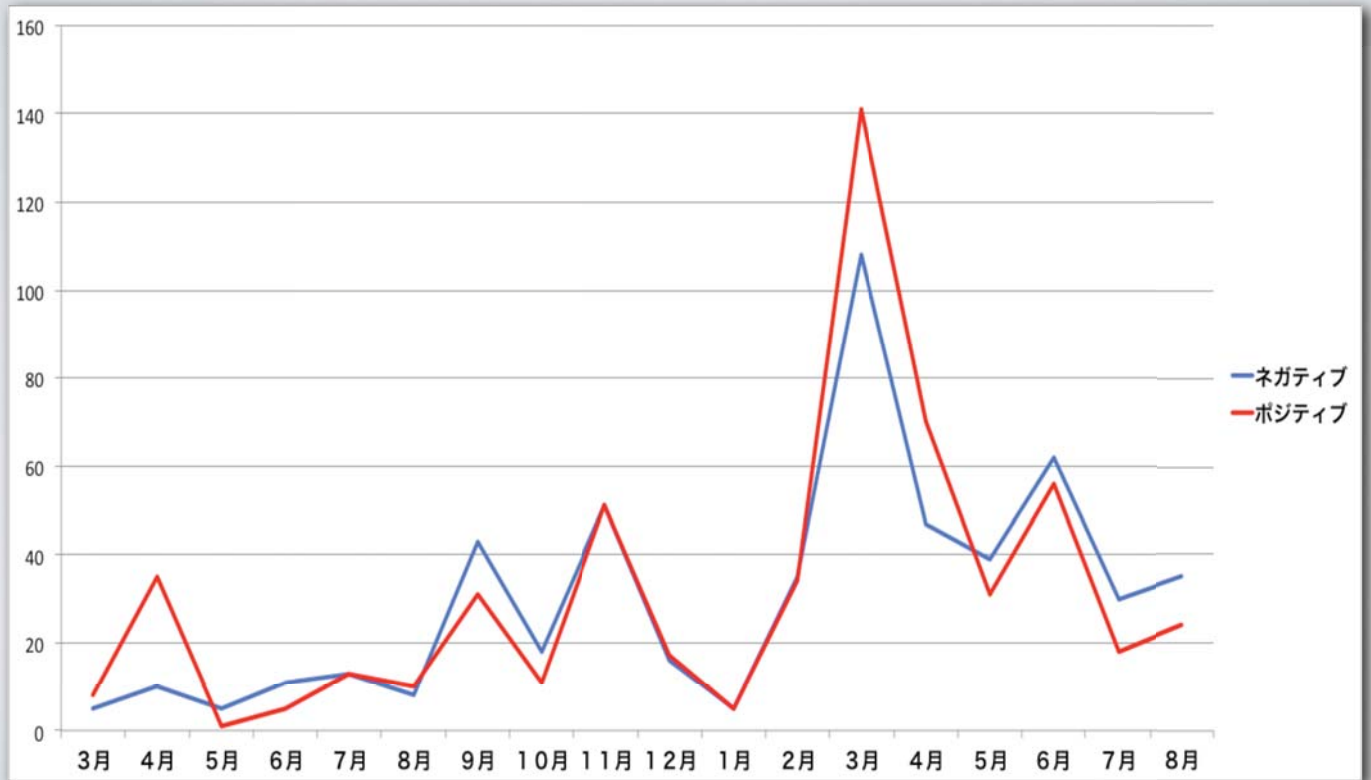
・ポジティブ

賛成、協力、可能・・・などを用いて検索

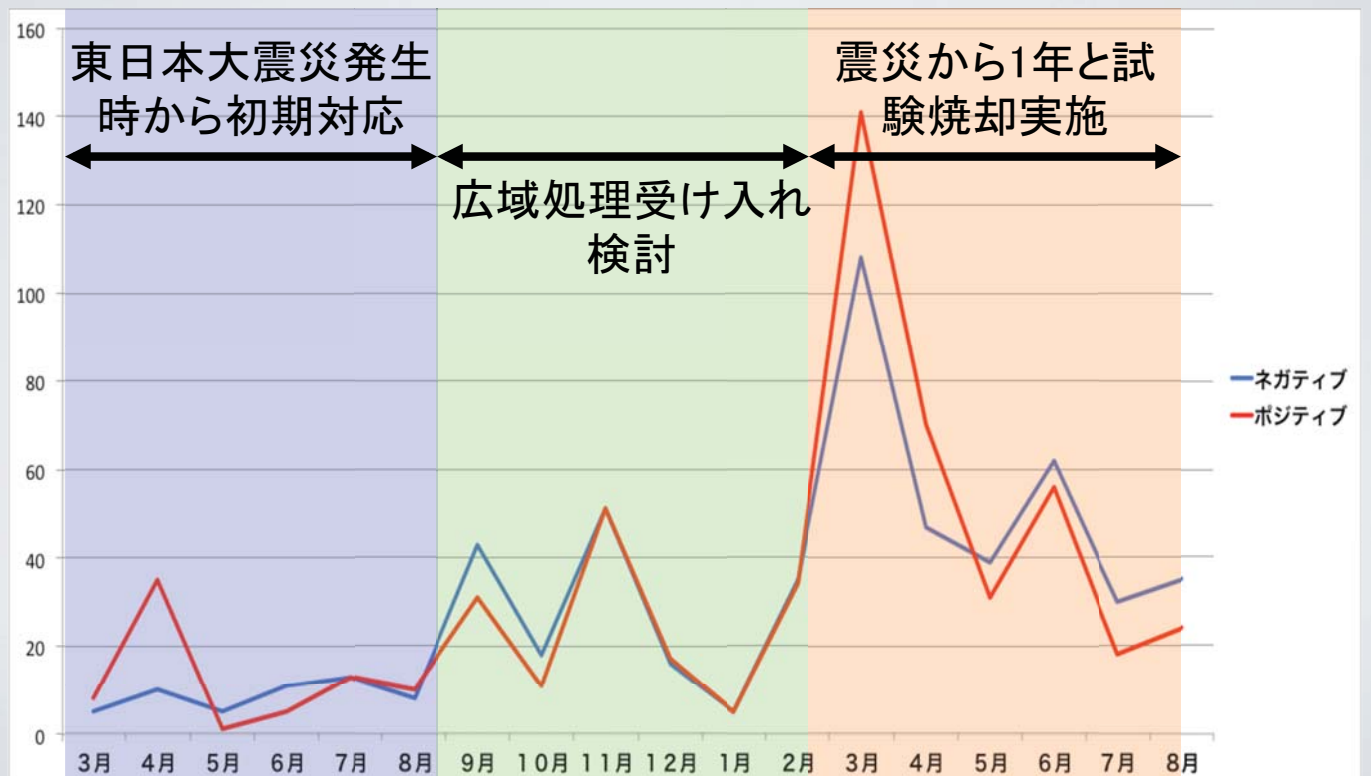
・ネガティブ

反対、不安、抗議・・・などを用いて検索

キーワード調査の結果図



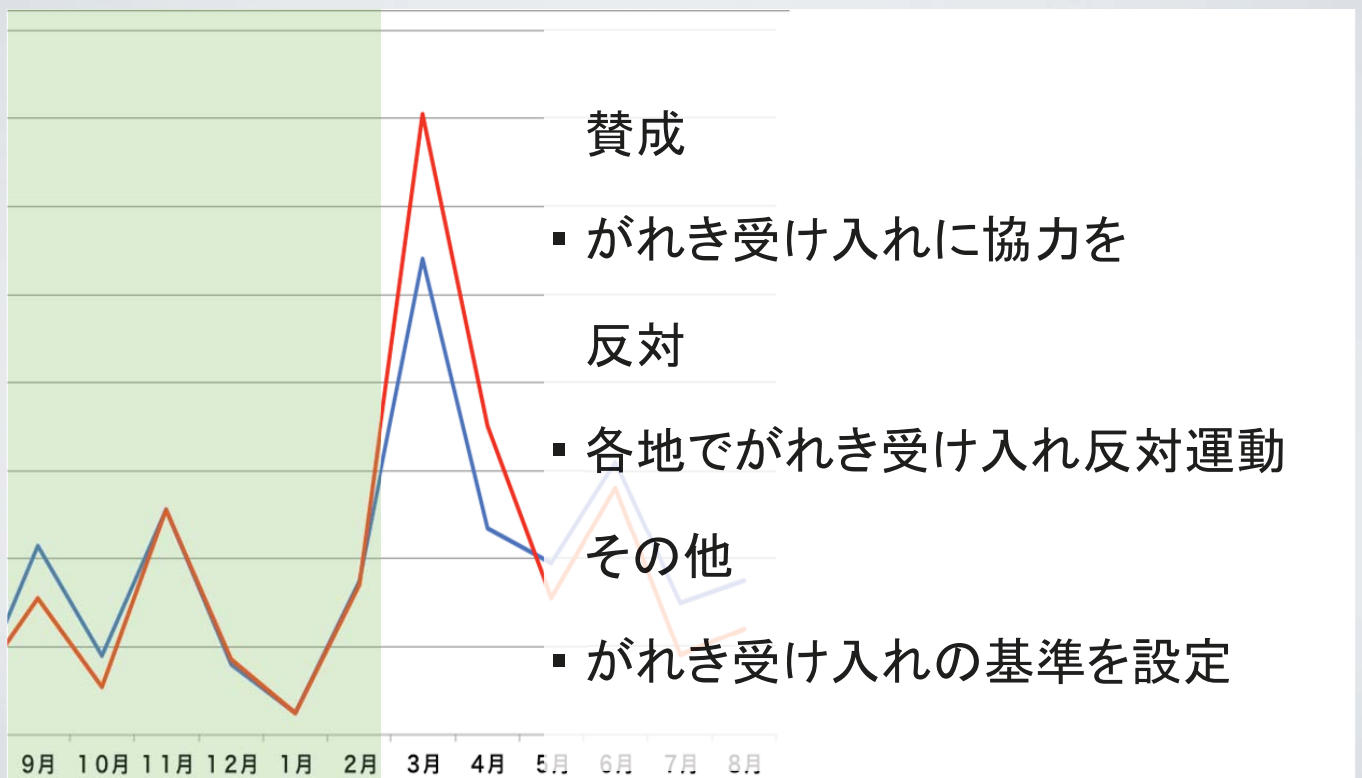
3つの区間に分かれ



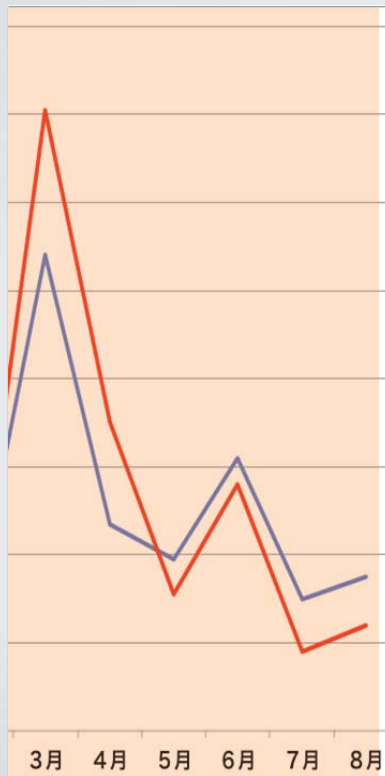
東日本大震災発生から初期対応



広域処理受け入れ検討



震災から 1 年と試験焼却実施



賛成

- がれきを受け入れよう

反対

- 試験焼却がれき運搬阻害
- お金をかけて遠くで処理する必要があるのか

その他

- 広域処理量見直し



北九州市試験焼却実施

受け入れ決議から焼却方針決定

- 受け入れを決議した翌日から反対派の抗議が殺到
- 市の動きに敏感に反応している
- 市役所に受け入れ反対を訴える電話が相次ぎ（現在まで至る）

		北九州市	反対派	市役所に受け入れ反対を訴える電話が相次ぐ
3月	12日	がれき受け入れを決議		
	13日		市民反対派怒号	
	15日		受け入れに対する説明を要求	
	19日	市長が受け入れ意向を表明		
	25日	市が駅前で広域処理に理解を求めらるピラ配りや演説を実施	反対派市民がその場で抗議や口論。反対のチラシを配る市民も	
4月	9日		市民団体質問状を市へ提出	
	22日	がれきに関する勉強会を開催		
5月	1日	月内に試験焼却を行うことを市が発表		
	2日	仙台市市長が訪れ、支援のお礼を述べる		

試験焼却開始からがれき受け入れ容認

- 試験焼却開始の為、がれき搬入時に反対派と衝突し
- 市長を脅迫し逮捕者も出るなど反対派の行動が過激になりつつある
- 一方、北九州市は積極的にタウンミーティングを開き、住民たちの理解を求めている

		北九州市	反対派	市役所に受け入れ反対を訴える電話が相次ぐ
5月	19日	宮城県からがれき出発		
	21日		反対派行進等行い、市職員ともみ合いに	
	22日	がれき搬入8時間半遅れる	がれき搬入時に基地の道路を封鎖	
	23日	がれき焼却後線量に変化なき事確認	ゲート前に立ちふさがる	
	24日		市役所に詰めかけ市長宛に声明文を渡す	
	28日	焼却灰や排ガスの放射能濃度が独自の安全基準を下回ったと発表		
	31日	専門家検討会、がれき受入を容認		
6月	1日		市長を脅迫する内容がネットに書き込まれ逮捕者でる	
	6日	住民らにタウンミーティングを開催		
	11日	宮城県知事が北九州市に感謝		

がれき受け入れ表明から現在

- 精神的苦痛を受けたとして、反対派が北九州市や宮城県に対し**損害賠償を求め**る訴訟を起こした
- 原告の人数は**142**人、損害賠償要求額は**1562**万円となっている

		市	反対派	市役所に受け入れ反対を訴える電話が相次ぐ
6月	17日		がれき受け入れ決定により精神的苦痛を受けたとし、市と宮城県に損害賠償を求める訴訟を起こす事を明らかに	
	20日	宮城県のがれき処理受け入れ表明	表明に怒号し一部の傍聴者退場	
	21日	風評被害奉仕対策室を設ける		
7月	11日	処理に伴う予算案発表		
	19日	処理に伴う予算案可決		
	20日	宮城知事が北九州市長に謝辞		
	21日	広域処理が8月下旬から9月半ばに遅れる		
8月	24日	石巻市長が訪問し謝意		
	27日	市と宮城県に損害賠償を求める訴訟を起こす		

北九州市の行動に対するまとめ

- 反対派の行動により、北九州市市民全体の印象が悪化した気がする
- 北九州市青年会議所が独自アンケートを実施し、市民の**7割**が受け入れ賛成
- 市民の大半は広域処理対応に理解を示している

反対意見に対する考察

- 広域処理の必要性
- 輸送コスト



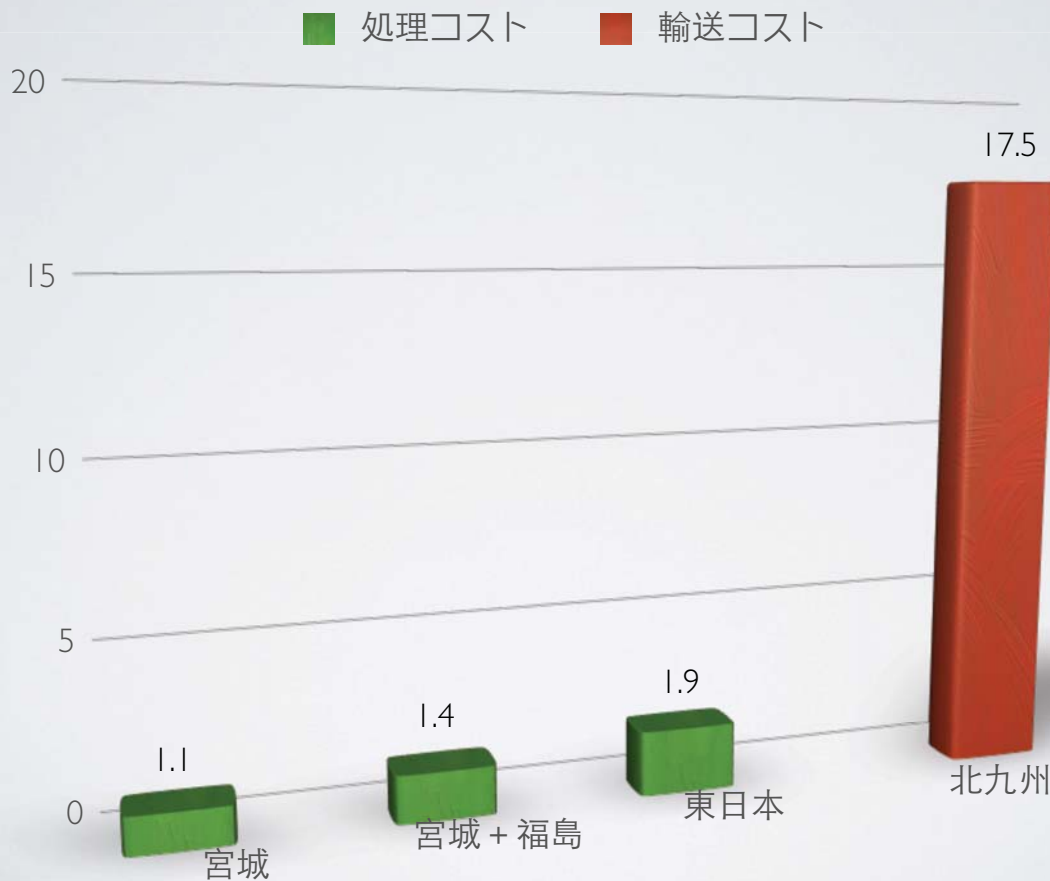
広域処理の必要性

	岩手県	宮城県	福島県
がれきの量	450	1670	400
年間処理量 (約)	45	83	80
倍数	10	20	5

災害廃棄物推定処理量 (単位: 万トン)

- 宮城県自身が県内で仮設焼却場を建てても、処理完了までは **8年**
- 隣接する福島県とともに県内処理を行うと、処理完了期間は **4年** になり (半減)
- さらに、より広域な東日本 (北は北海道、南は千葉県の範囲) で処理すると **1年** 以内に終わる

1トンあたりのコストの比較（万円）



北九州市反対意見に対する考察

- 広域処理の実施でより効率的に震災がれきを処理できる
- 10倍以上の輸送コストをかけ、遠く離れている北九州市まで運び、処理する必要があるか

全体的な考察

- ・ 反対派は国に対して不信感を抱いている
 - * 放射線物質の安全性基準
 - * 処分場説明
 - * 経済補償
- ・ 国としての安全基準が2転3転したり、がれき処理量の見積もりが不十分

全体的な考察

- ・ 信頼できる情報を積極的に公開する
- ・ もっと具体的な政策が必要
 - ★ 風評被害
 - ★ 焼却灰による影響

今後の予定

- より正確かつ細かく事態を把握する為に、朝日新聞以外の情報源からも調査を行う必要がある
- 引き続き調査を行い、意見推移などの動向を調査していく必要がある

参考文献

- (1)朝日新聞, 聞蔵IIビジュアル <http://www.asahi.com/information/db/2for1.html>
- (2)「風評被害の現状」 <http://www.daizugenome-sympo.com>
- (3)河北新報社, 「北九州市試験焼却 がれき80トンの輸送費1400万円」 http://www.kahoku.co.jp/spe/spe_sys1062/20120607_04.htm
- (4)加用千裕、石垣智基、山田正人、大迫政浩、立尾浩一, 「東日本大震災で発生した災害廃棄物の広域処理に関する一考察(第一報)―費用と処理期間の低減効果―」
- (5)毎日新聞, 「がれき処理費用: 仮設焼却炉1トン4万円 仙台で既存並み」 <http://mainichi.jp/select/news/20120710k0000m040115000c.html>

ご清聴ありがとうございました

THANK YOU